

▼プロムワレリル尿素 [内]

【重要度】 【一般製剤名】プロモバレリル尿素 Bromovalerylurea 【分類】催眠鎮静剤

【単位】▼原末

【常用量】■不眠症：500～800mg■不安緊張時：600～1000mg

【用法】■不眠症：寝る前■不安緊張時：分3

【透析患者への投与方法】透析患者への投与方法に言及した報告はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害のある患者では腎障害を悪化させるおそれがあるため慎重投与になっているが、おそらく減量の必要はない (5)

【特徴】大脳皮質に作用して、意識の鈍麻を起こして睡眠に至る。作用発現が速く、持続時間も短い。有機プロム剤のため、プロムの含量が少なく、組織中に固定されて徐々にプロムイオンを放出するので、中毒や副作用を起こすことが少ない緩和な睡眠薬。しかし依存を生じやすい。

【主な副作用・毒性】中毒症状は頭痛、無気力、舌のもつれ、記憶減退、めまい、ふらつき、失調、幻覚、錯乱で、重症では昏睡に至る。連用による依存傾向、急激な中止による痙攣発作、せん妄、振戦、不安等の禁断症状、悪心・嘔吐、下痢、頭痛、めまい、ふらつき、過敏症状など

【吸収】胃腸管から速やかに吸収される (1)

【tmax】30分 (1)

【代謝】肝で無機プロム体および有機性プロム化合物に代謝される (1)

【排泄】代謝物として尿中に排泄される (1)

【MW】223.07

【透析性】DHPによって除去されるが、リバウンドあり (J Toxicol Clin Toxicol 19: 273-279,1982) DHPにより血中濃度は1/2に低下 (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【効果発現時間】20～30分 (1)

【効果持続時間】3～4時間 (1)

【備考】中毒量6g、致死量は30～50g

【更新日】20220628

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。